

～「よい歯元気いっぱい」図画・ポスターコンクール」審査結果～ 歯を大切にしよう！

5月29日、南さつま市民会館において「よい歯元気いっぱい」図画・ポスターコンクール」の審査会が行われました。

今年度は新型コロナウイルス感染予防のため表彰式も中止となりました。南九州市からは市内小学校から653点の参加があり、南九州市・南さつま市合わせて1,117点の作品の中から、本市では8人の児童生徒が特別賞を受賞しました。

特別賞・特選の受賞者については、次のとおりです。
(敬称略)

南薩歯科医師会会長賞	青戸小5年	濱元結那
南薩薬剤師会会長賞	川辺小6年	竹之内花心
南九州市長賞	高田小1年	永崎飛向
南九州市長賞	大丸小6年	佛淵歌恋
南九州市教育長賞	九玉小3年	北野芽
南九州市教育長賞	浮辺小5年	上野美和
川辺ライオンズクラブ賞	大丸小3年	大坪千春
知覧ライオンズクラブ賞	知覧中3年	小畑陽菜

南薩歯科医師会会長賞



▲青戸小5年 濱元結那

特選	宮脇小1年	大山 ころはる
特選	別府小1年	福留 愛
特選	粟ヶ窪小1年	佃 拓 翔
特選	知覧小1年	御園 創太郎
特選	霜出小1年	堂園 じゅん
特選	浮辺小1年	塗木 丈 汰
特選	顕娃小2年	橋木 にこ
特選	青戸小2年	永山 美 來
特選	松山小2年	崎池 悠人
特選	清水小2年	大坪 樹 生
特選	勝目小2年	桐木平 梓
特選	松ヶ浦小3年	中渡瀬 承太郎
特選	中福良小3年	柳山 麗
特選	川辺小3年	立山 美 玖
特選	霜出小4年	中原 彪 雅
特選	松ヶ浦小5年	中渡瀬 ことり
特選	中福良小5年	若林 美 優
特選	高田小5年	龍崎 大 樹
特選	清水小5年	茶園 りこ
特選	宮脇小6年	祝迫 裕 真
特選	九玉小6年	福元 天 瞬
特選	別府小6年	松崎 新 奈
特選	松山小6年	二宮 嵩 丞
特選	勝目小6年	内村 日向子
特選	顕娃中1年	有村 美 咲

～大丸小学校の児童が大谷川生態調査を行う～ 大谷川を知ろう(生態調査)

6月29日、大丸小学校3～6年生児童14人が大谷川にて生態調査を行いました。

この学習は、総合的な学習の時間の一環で、自分たちが住んでいるふるさと大丸地区の豊かな自然に触れながら地域を学ぶものです。

大谷川で捕まえた魚などの生き物は、鹿児島大学の先生方に解説を受け、生態などについて学びました。また、山太郎ガニ(モクズガニ)の放流も行いました。



▲大谷川に生息する山太郎ガニを観察する児童ら

～川辺高校なぎなた部と自転車競技～

全国大会出場！頑張ってください

6月25日、今夏の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場する川辺高校なぎなた部の代表2人(國光蓮さん、上牧大佳さん)と自転車競技に出場する同校の東大貴さんが市長を表敬訪問し、全国大会出場のあいさつと、大会に向けての抱負を語りました。

市長から「コロナ感染症には十分気をつけ、一生懸命頑張ってきてください」と励ましの言葉があり、出場奨励金を手渡しました。



▲なぎなた部の國光蓮さんと上牧大佳さん(左から)



▲自転車競技に出場する東大貴さん

～知覧ライオンズクラブ結成35周年～

地域へ奉仕！学習教材などを寄贈

6月1日、知覧ライオンズクラブの蔵元慎一会長らが市長・教育長を表敬訪問しました。

同クラブは結成35周年を迎えるにあたり、記念事業として南九州地区防犯協会へ軽車両の寄贈、知覧中学校へ室外大時計の設置および知覧地域の小学校へ学習教材購入費補助など総額170万円余りの事業を行いました。蔵元会長は「今後も、ライオンズムの高揚に日々精進しながら、活動していきます」と述べました。



▲結成35周年記念誌を市長に手渡す知覧ライオンズクラブ会長の蔵元慎一さん（左から3人目）

～“社会を明るくする運動”メッセージ伝達～

立ち直りを支える地域のチカラ

7月は社会を明るくする運動の強調月間で、7月1日には南九州市保護司会代表者から市長へ内閣総理大臣と県知事のメッセージが伝達されました。

南九州市保護司会は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築くため、犯罪予防の啓発運動として“社会を明るくする運動”などに取り組んでいます。



▲犯罪のない社会を目指すメッセージを市長に伝達する保護司会の代表者の方々

～印刷工場を新設～

(株)イースト朝日と立地協定

6月21日、市役所で(株)イースト朝日との立地協定式が行われました。(株)イースト朝日は、業容の拡大と共に本社機能も含めた全面移転場所として旧手蓑小学校に工場を新設することになりました。この協定は、同社が工場を新設するにあたり、建設・操業が円滑に行われるよう相互協力体制を構築するものです。今回の工場の新設によって、地域の活性化や雇用の創出、高度な技術を持つ人材の育成に大きく貢献するものと期待されています。



▲旧手蓑小学校に移転する(株)イースト朝日、代表取締役の東垂水正昭さん（右）

～中村温泉病院のSDGsへの取り組み～

新型コロナ感染予防に体温計を寄贈

5月19日、中村温泉病院で穎娃高校へ非接触型体温計5台の寄贈式が行われました。

これには4月に中村温泉病院が鹿児島銀行との間で発行した「かぎんSDGs推進医療機関債」の一部を寄贈できるという仕組みを利用し、穎娃高校との三者で合意して実現したという背景があります。中村温泉病院では長引くコロナ禍をスタッフ一丸となり、地域の人たちが平穏な社会を取り戻すために医療を通じて戦っています。



▲三者の合意で寄贈が実現しました。左から穎娃高校校長の林匡さん、中村温泉病院理事長の中村嘉彦さん、鹿児島銀行えい支店長の飯屋晶行さん